令和７年　９月３０日
江戸川区立平井西小学校
校　長　　藤澤　優子
１０月号　No.６

平井西小だより

自分の役割にプラスして取り組む１０月に
「かかわり」「共育・協働」～心と心の絆を深めながら～

校長　藤澤　優子

まだまだ暑さは残るものの、通る風に「秋」が感じられるようになってきました。先日PTAソフトボール大会ではトンボが多く飛び交い、荒川河川敷にも「秋」の訪れを感じました。多くの「秋」に子供たちも触れてほしいです。

９月２７日（土）学校公開には、多くの方に来校いただきました。今回は、日頃の授業や子供たちの「健康」「安心・安全」についての授業を参観していただきました。５校時学校保健委員会の講演会にも多くの方が参加してくださいました。ありがとうございました。セーフティ教室は今回、低学年・高学年ともに「ネット・スマホの使い方」について考える授業に取り組みました。低学年・高学年ともに講師の先生から、「道徳心」についてのお話がありました。人間は誰しも強い心ばかりでなく、弱い心も持ち合わせています。正しい道を自らの意思で切り拓いていく力、大人も難しいことではありますが「自分を律する心」をご家庭と共に育てていくことができればと考えています。当日学習したことをご家庭でもご確認ください。

さて、１０月は学校では、１年のちょうど折り返しの地点になります。学級にも慣れ、一人一人がいろいろな役割を果たしています。「当番活動」は、給食当番や掃除当番、日直など学級の生活になくてはならないものです。一方「係活動」は、なくても困りませんが、あると学級がより楽しく、豊かなものとなります。そのためには、いろいろとアイディアを生かすことが求められます。今月は学級のために何か新しい活動をしてみたり、今の活動をよりよくしたり、今取り組んでいる役割に加えて、ちょっとプラスして取り組んでみてほしいです。やってみようと思うこと、こうしてみようと思ったことのプラスの活動を考えて取り組むことで、より楽しく、豊かな１０月を過ごしてほしいと願っています。